

## 第1回特別委員会会議録

|        |  |
|--------|--|
| 日時 場所  | 平成27年9月19(土)10:00～12:00 三州倶楽部会議室   |
| 出席者    | 上野座長、小森座長代理、伊藤委員、藺牟田委員、大江委員、川人委員、神田委員、塩田委員、田中委員、畠山委員、浜岡委員、牧之内委員、松元委員、三宅委員<br>久保監事 事務局宮本<br>(欠席委員) 飯山委員、岩崎委員、内田委員、中吉委員、吉留委員   |
| 議題     | 100周年を迎え当倶楽部の理念、今後のあり方について   |
| 配付資料   | ・特別委員会の進め方<br>・特別委員会及びワーキンググループ(以下WG)委員名簿<br>・中吉委員意見書(事前配布)<br>(参考)定款抜粋(第2章目的及び事業)、公益認定法別表公益目的事業23事業<br>第95号会報抜粋(21世紀宣言)   |
| 座長発言   | ・特別委員会は、記念事業企画委員会の下に位置づけられ、その進め方について、“WGを含め1年程度を目途に議論をまとめ記念事業企画委員会に報告する。”<br>記念事業企画委員会が「理念」を了承したときは理事会に報告し、理事会は必要に応じ定款等の改正を行う。<br>・特別委員会の役割は、「理念」作成及びワーキンググループ(以下WG)の調整<br>・特別委員会の議事要旨はホームページに掲載し、会員に意見開陳の機会を持つ。<br>・中吉委員意見書に「基本問題については、並行して評議員会に諮問すること」とあるが、評議員会に諮問するのは理事会であって、本委員会が諮問するものではない。<br>(会館老朽化)<br>・会館老朽化問題は、重要な問題と認識するも管理委員会で耐震補強工事が検討されており、特別委員会では取扱わない。   |
| 各委員の意見 | ○ 明治維新で活躍した先人がいたことも、倶楽部設立の背景にある。また志ある若い人の支援のためネットワーク作りが必要。これらを理念に表せられたら良い。<br><br>○ 人材育成が重要。また当法人が諸団体とのネットワークの核となり、情報発信をすることで地域振興に寄与する。<br><br>○ 定款第3条の目的にある「歴史・文化・伝統の調査研究」の取組みは不十分。研究者から寄稿されたものを会報に載せる方法もある。<br><br>○ 会員及び郷土史家の歴史・文化・伝統の調査研究を、ホームページにも載せるのが良い。<br><br>○ 理念は、定款第2章に包含されており、具体的に何をやるかが重要と思う。<br><br>○ 会員増強が重要。そのため若い人の論文をHPに載せるなどHP活用や会員向けソーシャルネットワークを構築するなど会員間の交流メリット、当法人の存在をアピールすることが必要<br><br>○ 「理念」は、会員同士を結びつける故郷や先人の偉業等共通意思、当法人の存在理由及び活動方針になるようなものと思う。<br><br>○ 宮崎出身会員が少ない中、鹿児島と宮崎との一体感を醸成する活動が必要と思う。<br><br>○ 多様な会員の在籍は財産であり、さらなる活躍の仕組みが会員増強に繋がると思う。<br><br>・次回は、歴代会長(春成氏、若松氏、上田氏)から、倶楽部の「理念」、今後のあり方について意見を伺うとともに、久保委員から「21世紀宣言」の作成経緯を伺う。 |